

（令和４年度中実績・令和５年度評価）

【評価点】
Ⅴ：計画を大幅に上回って実施している
Ⅳ：計画を上回って実施している
Ⅲ：計画を順調に実施している
Ⅱ：計画を十分実施できていない
Ⅰ：計画を大幅に下回っている。

（※）あくまでも一例であり、列挙されている事例以外にも評価できるものがあれば、反映して評価を行う。

大項目	小項目（年度計画より）		評価「Ⅲ」相当の例	評価「Ⅳ・Ⅴ」相当の例（※）	法人自己評価		市長評価		評価委員会意見（要旨）
					評価点	理由	評価点	理由	
1－1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上									
	1	動物導入計画を踏まえた具体的な取り組み（準備・交渉を含む。）を実施する。	・動物導入に向けた準備 ・交渉の実施	・新たな動物導入の実績	Ⅲ	コレクション計画の改定及び域内保全のための環境整備を行ったため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	2	JAZAの個体群管理計画に基づく種別管理等を継続して担当する。（ヨウスコウワニ・ホッキョクグマ・シシオザル等）	・種別管理の担当や部会員を継続して受嘱	・新たな種別管理、部会員を担当 ・種別管理等の担当をすることで園に何らかのメリットが得られた場合	Ⅲ	種別管理の担当や部会員を継続して受嘱したため（評価事例のとおり）	Ⅳ	新たに３種の専門技術員を受嘱するなど国内の動物園との信頼構築に向けて積極的に取り組み、ひいては天王寺動物園の地位向上に努めていることが認められるため	
	3	JAZA、WAZAの学術研究部や普及啓発部の開催する研究会等並びに地域別会議等に参加・協力し、園内で内容を報告する。	・研究会等への参加・協力の上、参加者が園内で報告	・研究会等に参加したことによる飼育技術の向上実績	Ⅲ	JAZA主催の研究会等への参加・協力の上、参加者が園内で報告したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	4	昨年度の検証を踏まえイベントを実施するとともに、結果を検証し、必要に応じ実施内容やイベントに関する指針に反映させる。	・イベントの実施および検証結果の指針への反映	・検証結果を指針や次期イベントに反映したことによる集客増やアンケートでの高評価	Ⅳ	新規事業の増加やアンケートでの高評価	Ⅳ	法人評価のとおり	
	5	昨年度に実施した近隣商業施設や交通機関等との連携イベント等の検証を踏まえた取り組みを行うとともに、結果を検証し、必要に応じ実施内容や前項指針に反映させる。	・近隣商業施設や交通機関等との連携イベントの継続および検証結果の指針への反映	・新たな連携による集客増やアンケートでの高評価 ・連携事業への参加・利用者数の増	Ⅲ	近隣商業施設や交通機関等との連携イベントを実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	6	広報戦略（Ｒ３策定）に基づいた情報発信を行うとともに、実績を検証し、必要に応じて有識者の意見を聞くなどして、戦略に反映させる。	・継続した情報発信および実績検証	・SNSのフォロワー数の大幅な増 ・HPでのお知らせ、スタッフブログ等、報道発表の発信件数がR３年度以上。（第1期中期計画期間はR３を基準とする）	Ⅲ	継続した情報発信および実績検証を行ったため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	7	前項戦略に基づきホームページの多言語化を拡充する。	・戦略に基づくホームページの多言語化拡充の実施（第４四半期）	・予定より早期の多言語化実施 ・当初方針以上の多言語化実績	Ⅲ	戦略に基づくホームページの多言語化拡充を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	8	昨年度策定したホスピタリティマインド醸成に関する方針に基づく取組（研修、研修効果定着のための取組など、研修効果チェック）を実施する。	・方針に基づく研修実施と効果チェック等の確実な実施	・来園者の満足度向上 ・研修受講対象者の拡大 ・効果の定着実績	Ⅲ	方針に基づく研修の実施と効果チェックを確実に実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり。引き続き今後も来園者満足度の向上に向けて取り組んでほしい。	
	9	継続して、定期点検を実施し、美観保持に努める。	・定期点検の継続実施	・点検時の指摘事項を分析の上、指摘を未然に防ぐ仕組みの構築	Ⅲ	定期点検を継続的に実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	10	広報戦略（Ｒ３策定）に基づく園内の情報提供を行うとともに園内掲示物整備アクションプランを策定する。（第１四半期）	・園内掲示物整備アクションプランを策定し、多言語化を実施	・実施時期の前倒し	Ⅲ	園内掲示物整備アクションプランを策定し、多言語化を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	11	ホッキョクグマ舎の実施設計を、ユニバーサルな観覧環境に配慮したものとする。	・ホッキョクグマ舎の実施設計における観覧環境への配慮	・予算の範囲内で、当初計画以上のユニバーサルデザインの採用	Ⅲ	ホッキョクグマ舎について観覧環境に配慮した実施設計としたため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	12	継続して、来園者の声を分析し園運営に反映する。（ＨＰ・ＳＮＳ含む。）	・継続した来園者の声の分析と園運営への反映	・来園者の満足度向上 ・お客様の声を反映した改善事例がR３年度以上。（第1期中期計画期間はR３を基準とする）	Ⅲ	来園者の声を継続分析し、園運営へ反映したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	13	昨年度拡充したクレジット払いの運用実績や来園者など関係者の声を踏まえ、園の決済環境を網羅的に検討のうえ、さらなるキャッシュレス拡充にかかる方針を決定する。	・キャッシュレス拡充にかかる方針決定および導入	・利用者の満足度向上	Ⅲ	キャッシュレス拡充にかかる方針を決定し導入したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	

1－2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進									
	14	ふれあい事業に関する方針を踏まえたプログラムに基づき新ふれあい広場の運営を行い、実績を検証のうえ、必要に応じてプログラム若しくは事業に関する方針を修正する。	・方針に基づく新ふれあい広場の運営実績検証と必要に応じた方針の修正	・方針修正による改善効果	Ⅳ	モニタリングをもとに検証を行い、方針の修正を行ったが、来園者の満足度を下げることなく動物のQOLが向上するなど、改善効果につながったため。	Ⅳ	法人評価のとおり	
	15	教育普及アクションプログラム（R4版）に基づいたメニューを実施するとともに、結果を検証し、必要に応じて他メニュー、プログラムに反映する。	・教育普及アクションプログラムに基づくメニューの実施および結果検証	・教育アクションプログラムに基づく取組みによる来園者の行動変容の実績	Ⅲ	教育普及アクションプログラムに基づくメニューの実施および結果検証を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	16	新たなボランティア制度をスタートさせる。（第3四半期）	・新たなボランティア制度の開始	・効果検証の上、更なる発展への取組への検討	Ⅲ	新たなボランティア制度を開始したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
1－3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術確立									
	17	ヒヤリハット事例の共有や飼育作業マニュアルの実施状況の定期的な確認と、必要に応じた改訂を継続する。	・ヒヤリハットの事例共有及びマニュアルの定期的な検証	・マニュアルの内容の充実	Ⅲ	ヒヤリハットの事例共有及びマニュアルの定期的な検証を行ったため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	18	環境エンリッチメント、ハズバンダリートレーニングに関する方針（R3策定）に基づき、取り組み中の種について継続実施するとともに、効果を検証し、実施種数を増やす。	・取組み種の継続実施および拡充（R4目標＝エンリッチ：56種　ハズバン：30種）とその効果検証	・目標取組数以上に取組みが進捗 ・検証の結果による取組内容の改善 ・安全面などの取組内容の質的向上	Ⅲ	取組み種の継続実施および拡充とその効果検証を行ったため（評価事例のとおり）	Ⅳ	環境エンリッチメント、ハズバンダリートレーニングともに拡充件数が上がっており、トレーニングの到達レベルも向上し、計画を上回る効果が見られるため	
	19	新病院の基本計画作成につながる「新動物病院計画の与条件整理表」を作成する。	・与条件整理表の完成	・与条件整理表に基づく基本計画の策定	Ⅲ	与条件整理表を完成させたため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	20	ペンギンアシカ舎、ホッキョクグマ舎等獣舎の計画に応じた設計や整備を着実に実施する。	・計画どおりの進捗（整備費増額・工期延長などの未然防止）	・予算増額を伴わないスペックの向上	Ⅲ	各獣舎とも計画どおりの進捗のため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	21	維持管理計画に基づく点検維持管理を着実に実施しつつ、第1期リニューアル計画を反映した維持管理計画を策定する。	・点検維持管理の着実な実施及び第1期リニューアル計画の反映	・工夫による維持管理費の削減	Ⅲ	点検維持管理を着実に実施し、第1期リニューアル計画を反映した維持管理計画を策定したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	22	当面新築が予定されない既存獣舎について、動物福祉の観点から小規模改良計画を策定する。	・動物福祉の観点からの小規模改良計画の策定	・小規模改良の結果、動物福祉面での機能向上の実績	Ⅲ	動物福祉の観点から小規模改良計画を策定したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
1－4 繁殖及び調査研究活動の推進									
	23	昨年度定めた繁殖推進種ごとの繁殖に向けたチェックポイントの項目を継続実施するとともに、必要に応じて対象種及びチェックポイントを見直す。	・チェックポイント項目の継続実施およびチェックポイントの見直し実績	・繁殖実績	Ⅲ	チェックポイント項目を継続実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	24	昨年度に確立した人工授精手技で引き続きオグロヅル、ソデグロヅルの繁殖を目指した取り組みを実施する。	・オグロヅル、ソデグロヅルの繁殖へ向け継続した取組み	・授精の成功	Ⅲ	オグロヅル、ソデグロヅルの繁殖に向けて継続して取組んだため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	25	大阪府産ニホンイシガメの保全活動に引き続き取り組むとともに、新たな種の保全活動の啓発等についても取り組む。	・ニホンイシガメの保全活動の取組みおよび新たな種の保全活動の啓発活動	・保全活動に向けた新たな取組実績 ・保全（繁殖）につながる環境整備	Ⅳ	ニホンイシガメの保全活動につながる環境整備として、アイファー内日本の自然エリア一部改修工事が完了した。また、啓発事業としてロングラン企画展を実施した。	Ⅳ	法人評価のとおり	

	26	「地方独立行政法人天王寺動物園の調査研究の方針」（Ｒ３策定）の行動スケジュールに沿って実施する。	・昨年度策定済方針に基づく研究の具体化（実施プロトコールの策定等）	・実施プロトコールに基づいた具体的な取組実績	Ⅲ	昨年度策定済方針に基づき研究について具体化を図ったため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	27	従来の連携先に加えて、昨年度に連携協定を締結した大学・機関との取り組みを進める。	・連携協定に基づく取り組みの実施	・新たな大学、研究機関等との連携協定の締結	Ⅳ	・従来の連携協定に基づく研究の継続 ・新たな大学との連携協定の締結	Ⅳ	法人評価のとおりに	
	28	ホームページ等で大学等との研究機関との協定による研究実績や、取り組み段階でも可能なものについては発表し、知見の共有を図る。	・園ＨＰの充実 ・共同で進めている研究実績などの発表	・知見を共有したことにより、新たな研究につながったなどの次の展開実績	Ⅲ	共同で進めている研究実績を発表したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	29	研究の成果については、研究会等において発表を行う。	・研究会等における発表	・各種賞の受賞 ・複数人の研究発表 ・園内およびＨＰなどでの発表	Ⅲ	研究会等において、研究実績を発表したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
2－1 自律的な組織経営									
	30	引き続き、研修やホームページ等で法人の目指す姿を情報発信・共有するとともに年報をホームページで公表するなど情報発信の充実を図る。	・研修やホームページ等で法人の目指す姿の情報発信	・公表対象データの拡充	Ⅲ	方針・計画等について、職員研修を実施するとともに、年報や事業評価結果についてホームページに掲載したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	31	法人内でのヒアリング等により組織の役職や人員数の改編・補充について点検し、必要に応じて対応する。	・昨年度構築した仕組みの点検	・点検により改善点が見つかった場合の改善実績	Ⅲ	昨年度構築した仕組みに基づき点検を行い、一部体制の変更を行った（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	32	各種業務の実施にあたり、外部の専門人材登用が必要かどうかを検討する。	・各種業務の実施に伴う外部の専門人材の検討実施及び実施効果の検証	・専門人材登用による効果の発現	Ⅲ	外部の専門人材の登用を検討実施し、実施効果を検証したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
2－2 人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起									
	33	人材育成方針及び計画に基づき各種人事業務を実施するとともに、必要に応じて方針及び計画を修正する。	・昨年度策定した方針及び計画に基づく研修実施 ・方針及び計画の必要の応じた見直し	・見直し効果の発現	Ⅲ	昨年度策定した方針及び計画に基づき、研修を実施し、必要に応じて方針及び計画を見直したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	34	人材育成方針及び計画に基づき研修を実施するとともにアンケート、効果、業界で求められるスキルを踏まえ研修計画を随時見直す。	・昨年度策定した方針及び計画に基づく研修およびアンケートの実施	・新たな応用研修または研修効果	Ⅲ	昨年度策定した方針及び計画に基づき研修を実施し、研修についてのアンケートを実施したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	35	資格取得支援の仕組みを浸透させ、必要に応じて支援対象資格を追加する。	・資格取得支援の仕組みの定着 ・支援対象資格の追加 ・資格取得にかかる効果の検証	・資格に挑戦する職員の増 ・多数の資格取得者	Ⅲ	支援対象資格を追加するとともに、資格取得支援の仕組みの定着を図ったため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	36	引き続き人事評価制度を運用するとともに、制度内容を検証のうえ、必要に応じて制度を見直す。	・人事評価制度に基づく運用	・職員にインセンティブが働く評価制度の構築	Ⅲ	人事評価制度に基づき運用したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
2－3 効果的・効率的な業務執行									
	37	年度計画の進捗状況を四半期毎に確認し、市ともその内容を共有する。その際、達成状況や令和３年度の市評価等を踏まえ、日常業務や次年度計画に反映するとともに、必要に応じて中期計画の変更を行う。	・進捗管理シートによる進捗状況の確認及び共有	（例示なし）	Ⅲ	法人内で進捗状況を確認するとともに、進捗状況や仮評価の内容を大阪市とも共有したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	38	引き続き、人事財務分野において導入した各種機器の安定運用を図るとともに、担当者変更等に伴う引継ぎを着実に実施する。	・導入しているシステムの安定運用	・新たなシステム導入 ・導入済みシステムの有効活用による更なる業務の効率化	Ⅲ	導入しているシステムについて安定的に運用したため（評価事例のとおりに）	Ⅲ	法人評価のとおりに	
	39	動物カルテシステムの日常飼育・トレーニング分野への試行実施（Ｒ３）を踏まえ、本格実施する。	・日常の飼育記録やトレーニング記録との連携	・連携したことによる効果の発現	Ⅱ	日常飼育・トレーニング分野における電子カルテへの統合運用が困難となったため	Ⅱ	法人評価のとおりに	

3－1 収入の確保									
	40	入園料収入3.2億円・入園者数120万人を目標とする。（令和4年度予算）	・目標値の達成（コロナによる影響は別途検証）	・目標値を大幅に上回る場合	Ⅲ	目標値を達成したため（評価事例のとおり）	Ⅳ	入園料収入、入園者数ともに目標値を上回っているため	
	41	継続してファンクラブ募集に取り組み、会費収入額を前年度比1.2倍を目標とする。	・会費収入額が前年度比1.2倍	・目標とする会費収入を大幅に上回る ・加入者数の大幅な増加	Ⅱ	会費収入額が前年度比は1.1倍であり、目標の1.2倍に到達しなかったため	Ⅱ	法人評価のとおり	
	42	既実施のクラウドファンディングの実績を検証し、ファンドレイジングの観点から、適用メニューや次回実施時期を検討する。	・ファンドレイジングのメニュー及び実施時期の検討	・新たなファンドレイジング手法の実施	Ⅲ	ファンドレイジングのメニュー及び実施時期について検討したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	43	営業実績（Ｒ３）の検証を踏まえた営業計画（Ｒ４）に基づき営業を実施する。	・営業計画（Ｒ４）に基づいた営業による寄附の獲得	・予算を大幅に上回る寄附実績（物品含む） ・寄附者数の大幅な増	Ⅲ	営業計画（Ｒ４）に基づいた営業により寄附を獲得したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	44	寄附額25百万円を目標とする。（令和4年度予算）	・寄附額25百万円（令和4年度予算）以上の獲得	・目標額を大幅に上回り、かつ獲得プロセスとの因果関係が明確な場合は評価	Ⅳ	寄附額の増加	Ⅳ	法人評価のとおり	
	45	時宜を得たオリジナルグッズの開発・販売を展開する	・予算の達成（R4予算 6百万円） ・例年実績と同等のオリジナルグッズの開発・販売	・新たなオリジナルグッズ販売による入園料外収入の増加（R4予算 6百万円以上）	Ⅳ	入園料外収入の増加	Ⅳ	法人評価のとおり	
3－2 経費の節減									
	46	昨年度までに設置した水道子メーターによる使用量を引き続き検証する。検証により漏水の可能性がある場所については調査し、漏水が特定された場合に修繕を行う。	・水道使用量の検証、漏水を特定した場合は修繕	（例示なし）	Ⅲ	水道使用量の検証をし、漏水箇所がないことを確認したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	47	当法人で着手するすべての獣舎整備（ホッキョクグマ舎、アジアの森等）で直営時代と比べて1割のコスト縮減を図る。	・獣舎整備の1割のコスト縮減	・予算増額を伴わないスペックの向上	Ⅲ	獣舎整備の1割のコストを縮減したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
4 その他法人の業務運営に関し必要な事項									
	48	内部統制委員会において、内部統制の整備及び運用に関する定期的な状況報告を踏まえ、必要な改善策を検討する。	・内部統制体制に関する定期的な検証	・検証の結果を踏まえた改善実績	Ⅲ	内部統制体制に関する定期的な検証を行ったため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	49	リスク管理規程に基づくリスク管理を着実に実施する。	・リスク管理の継続実施	・リスク発生の未然防止の実績	Ⅲ	リスク管理について継続的に実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	50	規程類について、新規採用者及び転入異動職員に研修する。（上半期）	・新規採用者及び転入異動職員への研修の実施	・研修内容や対象者の拡大	Ⅲ	新規採用者及び転入異動職員への研修を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	51	諸規程類の運用状況を確認のうえ、必要に応じて見直し若しくは新たに整備するなどの対応を行う。（下半期）	・諸規程類の運用状況の確認と必要に応じた新規整備	・見直し及び新規整備による業務への好影響	Ⅲ	諸規程類の運用状況を確認し、改定および新規整備を行ったため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	52	当園のみならず、設立団体や他団体のコンプライアンス事例をもとにグループ討議を行うなど参加型の研修を最低年1回は実施する。	・グループ討議などの参加型研修の実施	・グループ討議などの参加型研修の大幅増	Ⅲ	グループ討議などの参加型研修を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	53	各業務において個人情報扱う事務の棚卸を行い、漏洩リスクのあるポイントを明確にし、各種事務における作業上の重要管理ポイントの策定・改廃を行う。（上半期） また、重要管理ポイントが順守されているかどうかの点検を行う。（下半期）	・重要管理ポイントの策定・改廃及び順守点検の実施	（例示なし）	Ⅲ	重要管理ポイントを策定し、順守されているか点検を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	54	内部監査・監事監査を実施のうえ、必要に応じて内部統制環境の見直しを実施する。	・内部監査・監事監査の実施 ・内部統制環境の見直し	・監査結果を受けた大幅な改善事例	Ⅲ	内部監査および監事監査を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	55	必要に応じてセキュリティポリシー、マニュアルの運用状況を検証のうえ、必要に応じて改訂を行うとともに、設立団体並みの研修を実施する。	・マニュアルの改訂および研修の実施	・研修内容の充実（設立団体以上）	Ⅲ	マニュアル（情報セキュリティ対策基準）を改訂するとともに研修を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	56	今年度、設計若しくは工事を実施する全ての案件において、設計上・工事施工上の観点から来園者及び職員の安全対策に配慮する。	・設計・工事の法令順守および来園者・職員の安全対策の実施	・工事手順の工夫等による効率的な安全対策の実施	Ⅲ	設計・工事の法令順守および来園者・職員の安全対策を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
	57	獣舎及び園内施設の定期点検を着実に行う。	・定期点検の着実な実施	・点検結果を施設の適切な維持管理に反映させる仕組みの構築	Ⅲ	定期点検を着実に実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	

58	令和3年度に引き続き、受託事業者への安全意識の徹底に加えて、職員と合同での災害・猛獣脱出訓練及び研修で、より質の高い体制とするための方策を検討する。	・受託事業者と職員の合同訓練及び研修の実施	・訓練及び研修の結果、総体的な安全意識の向上の実例	Ⅲ	受託事業者と職員の合同訓練および研修を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
59	法人と委託先事業者が協力のうえ、新型コロナウイルスの感染状況に応じた適切な対策を講じる。（職員の健康管理を含む。）	・委託事業者と協力した感染症対策の実施	（例示なし）	Ⅲ	委託事業者と協力した感染症対策を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
60	引き続き、安全衛生管理体制の確立と職員の健康保持のための取り組みを進めるとともに健診等を着実に実施する。	・昨年度に引き続き職員の健康診断の実施	（例示なし）	Ⅲ	職員の健康診断を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
61	令和3年度に策定公表したSDGsへの取り組み方針を実施する。	・SDGsの取り組み方針に基づく行動	・取組内容の拡充実績	Ⅲ	SDGsの取り組み方針に基づき、イベントやペットボトルキャップ回収を実施したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
62	業務に関する年報（Annual Report）を公表する。（上半期）	・年報の公表	・次年度の公表時に向けた更なる内容の充実	Ⅲ	年報を公表したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	
63	事業継続計画の周知と意見交換を踏まえ、必要に応じた改訂を実施する。	・事業継続計画の周知及び課題の検討	・検討課題の対応を計画に反映し周知	Ⅲ	事業継続計画（BCP）を法人内で周知し、課題を検討したため（評価事例のとおり）	Ⅲ	法人評価のとおり	